

飛躍!白雲なびく駿河台

11月6日(土)午後6時より
東京会館ローズの間
アトラクションは中国歌舞団

総明会

第29回

総会を開催

総明会会報

発行
明治中学・高等学校同窓会
〒101 千代田区猿樂町2-4-1
明治大学付属明治高等学校内
TEL (03) 3296-4555

発行人/専務理事山崎敬生
編集/昭和41年卒同期会

総明会

五十九年開催の第二十回総会で命名された。初代校長の鶴沢総明先生のお名前をいただき、かつ、明中高同期会と同窓生の総体の連帯を意味するものである。

第二十九回総明会および懇親会を
つぎのとおり開催します。

一、日時 十一月六日(土) 午後六時 開場
午後六時半 開会
一、会場 東京会館 ローズの間
一、会費 一万円(現役学生 五千円)
(同伴券 五千円)

記念品や、楽しい催しを用意し、皆様のおいでをお待ちしております。

先輩・後輩や奥様もお誘い合わせの上、おこし下さい。
幹事学年は、昭和四十一年卒「四一明友会」です。

当日出席予定の先生方

村野 圭吾	校長	(英語)
山脇 信彦	高校教頭	(理科)
桜井 正美	中学教頭	(社会)
田中 徹太郎	先生	(社会)
栗野 哲也	先生	(社会)
由井 将雄	先生	(社会)
山田 伸夫	先生	(数学)
後藤 朋智	先生	(理科)
木村 雄治	先生	(英語)
大野 正隆	先生	(英語)
吉田 重幸	先生	(英語)
三田 行男	先生	(国語)
水落 八郎	先生	(体育)

以上13名

式次第

(司会 廣瀬 準)
一、開会の辞 小林副会長
二、会長挨拶 向殿 会長
三、会務報告 山崎専務理事
四、会計報告 二村会計幹事
五、監査報告 館野監査
六、議 事

議長 山崎専務理事
役員改選の件
来賓挨拶
岡村明治大学理事長
宮崎明治大学総長
村野明治高校校長
卯木副会長

一、閉会の辞 卯木副会長

懇親会

(司会 井上てつや)
一、開会の辞 亀井 肇
二、乾 杯
三、歓 談
四、アトラクション

一、来期ホスト学年紹介(42年卒)
二、校歌斉唱 応援団OB
三、閉会の辞 三浦事務局長
お開き後 記念品交換

●記念品にTシャツ

●入場整理券は前回同様
幹事より無料で配布

入場券は前回と同じく、幹事を通して無料で配布いたします。会費は、会場の窓口を卒年ごとに六ヶ所に分けてありますので、そこでお支払い下さい。

この入場券は、終了後にお渡しする「紫紺のMEIJIネーム入りTシャツ」の記念品引換券でもありますので、なくさぬよう注意して下さい。お持ち帰りいただくTシャツについては、16ページで詳しく紹介しております。

校歌

児玉花外 作詩
山田耕柝 作曲

一、白雲なびく駿河台
肩秀でたる若人が
撞くや時代の暁の鐘
文化の潮みちびきて
遂げし維新の栄になふ
明治その名ぞ吾等が母校
明治その名ぞ吾等が母校

二、権利自由の揺籃の
歴史は古く今もなほ
強き光に輝けり
独立自治の旗幟し
高き理想の道を行く
我等が健児の
意気をば知るや
我等が健児の
意気をば知るや

三、霊峰不二を仰ぎつつ
刻苦研鑽他念なき
我等に燃ゆる希望あり
いでや東亜の一角に
時代の夢を破るべく
正義の鐘を打ちて鳴らさむ
正義の鐘を打ちて鳴らさむ

四十九年後の 卒業式「実現」

明中第二十九回卒業(昭和二十年)の同期生は、戦争の混乱した状況の中で卒業式が出来ぬまま、母校を巣立っていった。

六十五才を迎えた現在、欠けていく仲間も多くなり、なんとか卒業式を済ませたいとの熱い想いが、学校を動かし、明年三月十日、平成六年卒の高校生と共に卒業式が実現の運びとなった。素晴らしい快挙である。うれしい哉!

生徒たちへの愛情は、
いつの時代も変わらない
駿台——昔と今

昭和初頭の駿台高等予備校の生徒募集新聞広告を見ると、「我学会の弊風たる詰込主義を排し、専ら基本原理の了解に務め、之が運用の玄妙を授け、以て推理及判断力の涵養増進を期す」とある。それから70余年、いまだ駿台の授業は、「学問の基本を理解させる」ことがテーマである。

駿台予備学校

学園長 山崎春之 (第27回卒)

東京校 03(5259)3111	名古屋校 052(204)2311	大阪南校 06(531) 1111	広島事務所 082(247)3559
八王子校 0426(42)5811	京都校 075(842)1111	神戸校 078(241)1100	九州事務所 092(741)1911
大宮校 048(645)3611	京都南校 075(682)2222	仙台事務所 022(268)0201	千葉系列校 043(221)3811
横浜校 045(316)2311	大阪校 06(865) 1111	金沢事務所 0762(60)5333	札幌系列校 011(709)7111

総明会に寄せて

総明会会長就任挨拶

総明会会長 向殿 政男



総明会の皆様、こんにちは。
今回、恐れ多くも坂本朝一前名
会長の後を引き継ぎ、総明会の
会長という大役を仰せつかった
向殿です。力不足なのは明らか
ですが、本会の発展と充実のた
めに微力を尽くしたいと思いま
す。どうぞよろしくお願い申し
上げます。

現今、世の中まったくの、歴
史に残る激変の時代といつて良
いのではないのでしょうか。東欧
の激動から始まってソ連の消滅
へと、そしてアメリカにおける
若きクリントン大統領の誕生へ
と繋がる世界的な流れ。その一
環とも思えないわが国の
保守勢力の交替等々、目まぐる
しいまでの変わり様です。戦後
の日本の発展と共にあった自民
党が下野して、細川連立新政権
が成立するとは誰が一年前に予
測したのでしょうか。一方、わが
国は経済的には不況の真っ只中
で、各企業ともリストラ(再構
築・再編成)に懸命です。実は、
教育界も同様なのです。情報化
国際化が叫ばれると共に、若者
人口の減少、文部省による教育

の自由化方針等々、変化の波が
教育の現場を襲いかかろうとし
ています。受験産業は用意万端
ですが、中学・高校、更には大
学の現場では積極的に対応して
いるところから、まったく無対
応のところまでまちまちです。
近々、この激動の波、リストラ
の波が教育界全体を襲うことは
間違いありません。我が母校も
この波にさらされるのを避ける
ことが出来ないのはもちろんで
す。一方、リストラの波は、か
く言う私たちの総明会そのもの
にも及んでいとなると考えなけれ
ばならないかもしれません。
同窓会の存在意義は何なんで
しょう。今更言うまでもなく、
答えは自明です。大先輩の言葉
にも在るように、「生徒が学校を
卒業したと言う縁は永遠であり、
学校側は卒業生の幸福を祈り、
卒業生は学校の発展を願う」の
は、自然の情です。ここにあつ
て、同窓会の目的は、会員相互
間の親睦であると共に、母校発
展への賛助、すなわち母校に対
する精神的、時には経済的支援
に有ります。現在の私たちの会
則には、これに加えて「同窓生
の知のおよび精神的連帯のもと
に」という付帯条件が高らかに
謳われているのは、総明会の誇り
とするところです。総明会は、
これまでの戦前、戦後の諸先輩
達のご努力により、会として立
派に成長、発展してまいりまし

た。すなわち、一九六五年六月
に笹村初代会長の時に発足し、
片岡・栗原会長を経て、坂本前
会長に至るまでに基礎固めの第
一ステップと発展の第二ステッ
プを完了したと思います。これ
からが本番の第三ステップの充
実に突入する、これが総明会
のリストラの意味する所ではな
いでしょうか。この第三ステッ
プの当面の課題の主なものは、
(一)財政基盤の確立、(二)組織の
確立、(三)事業の活発化、(四)母
校との交流の活発化、の四点到
に絞られると思います。すなわち
「足腰を強くして、益々事業を
発展させ、母校とのコミニケー
ションを盛んにする」ことが、
これからの総明会に与えられた
使命だろうと考えます。

一人でも多くの卒業生が参加
し、参加した皆が、面白くてか
つ参加し甲斐のある、真に親睦
に値するような総明会に、更に
母校がこれからの激動の時代に
進むべき指針、すなわちその教
育方針と理念が明確に示される
時、その実現に力強い支援の出
来る総明会になればと願って
います。この総明会の諸活動を
支えるのは、母校愛に基づくボ
ランティア活動であることは間
違ひありません。皆様のご協力
を得て、冒頭で述べましたよう
に、微力ではありますが、少し
でも当会の発展に寄与したいと
思いますので、ご支援の程をよ
ろしくお願い致します。

経歴

昭和36年3月 明治高等学校
卒業。
明治大学情報科学センター所
長。明治大学理工学部情報科
学科教授。明治大学評議員。
(財)私立大学情報教育協会常務
理事。日本フアジイ学会会長。

明治大学理事長

岡村 了一

明治大学総長

宮崎 繁樹

明治大学学長

岡野 加穂留

明治中学・高等学校校長

村野 圭吾

昭和三十六年卒業

総明会会長

明治大学理工学部教授
日本フアジイ学会会長

向殿 政男

〒158 世田谷区深沢五―一八―二〇
☎三三七〇―一六九一

昭和二十六年卒業

明治高等学校野球部監督

卯木 敏夫

〒116 東京都荒川区西目暮里
六―五―一三
☎三八〇〇―六一〇〇

市原企業株式会社

取締役社長

山崎 敬生

(昭和三十二年卒)
(明治会)

取締役総務部長

山崎 弘滋

(昭和二十年卒)

〒290 市原市五井一七―一

☎四三六―二一八二〇〇

昭和九年卒業

総明会名誉会長

坂本 朝一

〒215 川崎市麻生区上麻生
二―三―四二
☎四四―九八八―九三六六

大正一〇年卒業・五明会
総明会名誉顧問

片岡 龍夫

名誉会長

坂本 朝一

(昭和九年卒)

名誉顧問

片岡 龍夫

(大正一〇年卒)

会長

向殿 政男

(昭和三十六年卒)

副会長

小林 昭雄

(昭和二十二年卒)

副会長

卯木 敏夫

(昭和二十六年卒)

会計

二村 昌也

(昭和三十三年卒)

監査

館野 春男

(昭和十三年卒)

監査

大場 隆之

(昭和三十〇年卒)

理事・学校代表

栗野 哲也

(昭和四十九年卒)

理事・事務局長

三浦 昭生

(昭和三十八年卒)

理事・総務部長

伊藤 茂雄

(昭和三十一年卒)

理事・総務副部長

長棟 良元

(昭和三十七年卒)

理事・組織部長

加藤 真義

(昭和三十六年卒)

理事・組織副部長

服部 雄二

(昭和四十四年卒)

理事・事業部長

結城 康郎

(昭和四十二年卒)

理事・事業副部長

山形 英明

(昭和四十五年卒)

理事・クラブOB会部長

矢島 芳雄

(昭和三十六年卒)

理事・クラブOB会副部長

小川 滋

(昭和四十四年卒)

専務理事

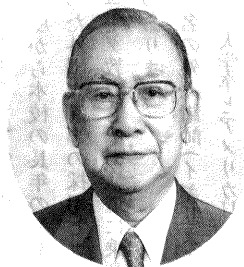
山崎 敬生

(昭和三十三年卒)

総明会に寄せて

総明会会長退任に当って

総明会名誉会長 坂本 朝一



この度、総明会会長退任に当
つての感想を書くようにとのこ
とで、筆を取った次第だが、よ
く考えてみると、果してお役に
立ったかどうかと忸怩としてい
る。しかもご注文の文面では、
新会長への提言も付記してあ
り、益々尻込みする次第。

私が在任中一番心したことは、
我々旧制の明治中学校を卒業し
た者と、現在の新制の明治中学
・高校を卒業した者との関係が、
言葉遣い一つで、誤解を招く恐
れがないかと。

その事は、教育制度の改変も
さることながら、校歌一つとっ
ても「帝都の真中駿河台」と歌っ
た我々は、「白雲なびく駿河台」
の明治大学と同じ校歌を歌う現
在の有様とは心理的に「時代」
を感じさせられて、一寸、セン
チメンタルになったりする。

そう言う旧制の卒業生の心情
を察して、同窓会の当番幹事は、
旧制の校歌も別に歌わせる心配
りをしてくれたりして、嬉しく
なったりした。

しかし、私の前任者の片岡先
輩は、大正十年の卒業で、校歌
も「帝都の真中駿河台」と多少

違っているとのことで、我々昭
和年代の旧制卒業の者も頭が上
らない思いだった。

只、我々旧制卒業の者は、あ
の校舎の場所に断ち切れぬ思い
があつて、総明会なればこそ、
お茶の水駅で降りて、文化学院
の前を通つて母校へ行けると、
多少胸が高鳴る思いをしたりし
た。

従つて同窓会も母校の香りの
する場所、昔の同級生が集ま
る企画がいいのではないかなん
て言つて、明治大学のホールの
ような場所を指定してみたりし
た。

しかし、卒業生の数も増え、
小学生のような多少老人的感傷の
行き方では、当番年度の責任が
果せないし、男子中学・高校の
ことだから、夫人同伴と言う考
え方の場合もあるから、出来る
だけそう言うサービスもしてと
のことで、現在のようなことに
なった訳。

私は、実は大学は早稲田なの
だ。中学の時多少文学青年的心
境になつて、当時明治大学には
文学部がなく、中学四年で早
稲田の第一早稲田高等学院を受
けたら合格して、従つて明治中
学は、昭和八年四年修了なのだ
が、卒業年度としては昭和九年
と認定されている。従つて、総明
会会長としては、多少コンプレ
ックスを持つていて、そろそろ
新制の明治っ子になつて言つて
いたら、今度昭和三十六年の向

殿政男氏が新会長になった。こ
れこそ、紛れもない明治っ子の
会長で喜んでゐる。会員の皆様
も同様の心境ではないだろうか。
そんな思いでいるから、現在
の副会長以下の役員も、後輩の
新会長を助けようと真剣になつ
て頂いていることを、小学生も有
難く思っている。

ところで、その向殿新会長の
著書に「フアジイ理論がわかる
本」と言う名著があることを知
つた。

お恥しい話だが、フアジイ理
論と言うのはどう言う理論なの
か正直言つて知らなかった。こ
の本の前書のところ、明治大
学の講義のとき「あいまい研究
会へ行く」と黒板に書いて行つ
たら、事務所の事務職員に聞か
れた学生が、黒板に書いてある
通り答えたので、あとで、その
事務職員から「先生ふざけては
困ります」と叱られたとあつた。
私はその前書を読んで、成程
と思いつつ、フアジイ理論を勉
強した。その結論として、現在
の世界観の中で、フアジイ理論
は一番重要な意味を持つかも知
れない。特に「日本語の表現」
の中にはと言ふのが、日本人の
心境の中には、この問題は重要
な意味を持つと思つた。

日本語は縦書も横書も出来る。
こんな言語が世界には無い。
国語審議会の会長も勤めての
心境で、新会長こそ適任の方だ
と信じる次第。

我々も共に母校のお役に立ち
たい。

経歴

大正六年三月二十八日生。
昭和八年三月旧制明治中
学終了。
元NHK会長。

昭和二年(第二回)卒

明士会

〒113 文京区千駄木三六二(野玉方)
☎ 三八二一〇七五三

昭和二十二年卒

午巳の会

斉藤久也

〒146 大田区千鳥一二五(五)
☎ 三七五〇一五六九一

昭和二十五年卒

明二会

会長 高橋 信雄
副会長 相澤 潤一

連絡先
〒101 千代田区神田神保町一七
高橋 信雄(三光堂書店)
☎ 三三九一一二五五七

昭和二十七年卒

稲田博士

代表取締役
昭和三十三年卒

稲田勝久

〒413 静岡県熱海市東海岸町
三二二三
☎ 〇五五七七八一五三三三

昭和二十五年卒

小田川玉城

〒162 新宿区神楽坂三二一
☎ 三三六〇一二六二

株米山富次郎商店

昭和二十七年卒

米山耕右

昭和四〇年卒

米山廣昭

昭和二十九年卒
明治中学・高校PTA会長

株東京富士カラー

代表取締役社長

山浦晟暉

〒166 杉並区和田一四二二
☎ 三三八二四一一一

昭和三十一年卒

宮本久義

昭和三十一年卒

株日刊スポーツ新聞社

取締役社長

月岡洋児

〒116 荒川区東日暮里四一九一二
☎ 三三八〇六一一一一

祝 第29回 総明会

宝石・貴金属 輸入卸

有限会社 明石商会

相談役 天日晴夫 (昭和28年卒)

〒110 台東区上野5-14-8 TEL 3836-3088

祝 第29回総会



射撃・狩猟を始めてみたいあなたに!
どの銃でもらくらくローン

●初心者クレイ射撃教室有り
●申請手続き模擬問集(解説付)

神田銃砲火薬店

〒101 東京都千代田区神田鍛冶町3-7
神田駅北口前(たぐん裏)

☎ 3251-3305

石川喜助 (28年卒)

昭和三十〇年卒 同期会

会長 大場隆之

副会長 伊藤 寿

八十島庸郷

西秋忠男

田村正彦

中瀬 裕

中堀 茂

石田彰之

幹事長

〒275 千葉県習志野市袖ヶ浦
四一五一(大場方)
☎ 〇四七四一五三二九七三

昭和三十三年卒
割烹 藤屋

一 村 昌 也

〒113 文京区本郷三二一五二
☎ 三三八一一四四九

昭和三十三年卒
株高文

高橋達三

〒101 千代田区内神田三十四一八
☎ 三三二五二二四八

昭和三十三年卒
酒場 紀の川

稲田勝久

〒413 熱海市清水町一〇二二
☎ 〇五五七八一〇九〇九

昭和三十四年卒

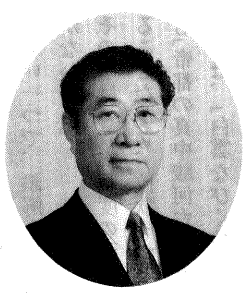
石橋義一

〒101 千代田区外神田三六一八
☎ 三三五一四八四

総会に寄せて

自らが何かを生みだす
人間教育を

校長 村野 圭吾



まず始めに、社会の各分野で活躍の本校同窓生の皆様に心からの敬意を表明するとともに、わが母校に対するご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

昨春秋、本校は創立八十周年の記念祝賀の行事を、明治大学理事長、総長、学長そして総明会会長列席のもとに、恙なく挙行できましたことを大変うれしく思います。

八十周年を一つの契機として、本年度から本校の長年の懸案であった外国人講師の採用とコンピュータ教育もその軌道に乗りつつあります。

二名の外人講師(イギリス・ロンドン大学卒とアメリカUCLA卒)は、AET(英語補助教員)として、中学と高校の英語の授業に加わっています。このことは、生徒の英語の実際の運用力の増強に拍車をかけ、今後の英検二級、準一級取得や、トフル(留学のための資格試験)へ向けて、生徒の英語に対する「やる気」と「実力アップ」へつながることと確信しています。又

つていった先輩OBの暖かい気持ち、が、ストレートに後輩に伝わり、将来へむけての彼らの「やる気」を刺激するこのOB講演会を「層充実するために、今後とも、OBの皆様のご協力をお願いする次第です。

今年春、明治大学の卒業式で七学部のうち法、商、経営の三学部の総代が本校卒業生で占められていたということも、うれしいニュースでした。明治の内

外で、本校卒業生が頑張っている事は、本校の長い歴史と伝統にまた新たな輝きを付け加え、それに続く後輩生徒にとって、自らを律し、更に大きく飛躍しようとする道標ともなります。

本校の伝統的校風である「独立自治」と「質実剛健」のもとに、「自らが何かを生みだす人間教育」をめざし、私達も一層の努力を惜しまないつもりです。

世はまさにバブル崩壊のなかで、社会の様々な分野で連日きびしい状況が伝えられています。が、本校卒業の諸氏、諸兄には「男坂」で培った明治魂で、この困難な状況を乗り切る一層の健闘を祈念いたしております。

同じ学窓を巣立ち行く教養子達が、OBの範にならって、今後社会の様々な分野で広く、深く活躍できるよう、OBの皆様のご支援、ご協力を、今後とも切にお願いする次第です。

経歴

昭和五年生れ、文京区出身
青山学院大学英文学科学卒
昭和三十三年、本校英語科教師に着任。
平成四年校長に就任。

LOVELON co.,ltd.

himico
昭和34年卒
代表取締役
高橋 秀典

CHARMANT
昭和38年卒
専務取締役
高橋 正 佑

ラロン株式会社 〒111 台東区浅草橋4-19-7 ☎03-3862-7611(代)

当社は製造業を中心としたコンピュータシステムの設計・製作をおこなう独立系のソフトウェアハウスです。
こんな時お気軽にご相談下さい！
◎生産設備から自動的にデータをとって監視したい。
◎パソコンを使った安価なシステムで工場の生産管理を行いたい。
◎MAN POWER不足で、コンピューターやシーケンサのソフトを外注したい。

第一アドバンスト コントロール システムズ株式会社
〒101 千代田区神田錦町1-8 親和ビル6F Tel 3294-4671(代) Fax 3294-4675
常務取締役 野田 繁 (昭和35年卒)

昭和三十五年卒
代表取締役 山県常浩
〒110 台東区蔵前二丁目二番地
☎三六六二二三九二七(代)

昭和三十五年卒
代表取締役 鈴木 勝
〒110 台東区東上野一丁目三十五番地
店 ☎三六三二一七二二
自宅 ☎三六三二一九六八〇

昭和三十六年卒業(明駿会)
会長 加藤 真義
副会長 谷 正之
会計 山田 利男
〒116 荒川区西尾久四丁目一丁目
☎三八九四一六三三二 加藤 真義

祝 第二九回総明会
明治中・高
「ヤマサ会」

昭和二八年中学卒
加納輝雄

昭和三三年中学卒
斎藤誠一

昭和三八年高卒
小泉 晃

昭和四一年高卒
竹澤順一

ヤマサ醤油株
〒103 中央区日本橋筋段町
☎三六六八二二七二

別館
東武大師線西新井大師駅
すぐ前
和食 三〇〇名
パーティ 四〇〇名 収容
こちらも御利用下さい

西新井大師門前
電話(3890) 二九三三三(代)

料理 中田屋

しゃぶしゃぶ季節料理のご用意もご用意
大小御宴会にご利用下さい

昭和三十七年卒
日本クリエイト株
代表取締役
大澤 忠夫
〒106 港区新橋五丁目八番地
柴田ビル六階
☎三四三七一九七五

昭和三十七年卒
本場乾海苔問屋
株大須賀海苔店
代表取締役
大須賀延敏
〒135 江東区常盤二丁目九番地
☎三六三四一八二八六

昭和三十七年卒
株石井製作所
代表取締役
石井嘉一郎
〒130 墨田区東駒形四丁目一〇番地
☎三六二二一三三八五
Fax 三六二二一四七七三

昭和三十七年卒
ステーキ・シーフード鉄板焼
一位(いちい)
松田茂樹
〒106 港区麻布一丁目一五番地
ヴェスタビルB1
☎三六四六二二二九

平成四年度活動報告

専務理事 山崎 敬生

活動報告のはじめに新会長誕生の報告をいたします。昨年11月7日に行なわれました第28回総会におきまして、昭和36年卒業の向殿政男氏が、全会一致で選任され、就任いたしました。それにともない坂本朝一会長は名誉会長に、片岡龍夫名誉会長は名誉顧問に就任いたしました。総明会の目的は、母校明治中・高等学校の教育を受けた同窓会員が集い、会員相互の親睦を図り、更には会員相互の協力関係を深め、あわせて母校の発展に寄与する——と云うことであります。この目的を達成するため、この平成4年度も、年1回の定期総会をはじめ、旅行会、新版名簿の発刊など、次の事業活動を行ないました。

◎総会は、第28回を迎え、昭和40年卒同期会『明優会』の担当で、11月7日(土)、椿山荘に参加者四百余名をみて大盛況のうちに開催されました。母校創立80周年の記念として、参加者全員に配付された紫紺のベストやアト

ラクシヨンのクイズなど好企画に新・旧いずれの会員にも好評裡に終了しました。

◎第二回親睦旅行が事業部の企画により、11月21・22日の1泊2日で21名の参加で実施されました。事業部では、これからも親睦行事を企画してまいりますので、行事企画への希望などご連絡ください。

◎新版名簿は、5年毎に発刊することになっており、今回、増補・改訂し7月1日付で発刊いたしました。協賛広告をお願いいたしましたことが、多数ご協力いただきましたこと、紙上より厚く御礼申し上げます。なお、名簿は一部4千円(送料込み)で頒布しております。ご希望の方は、本部(〇三三一九六四四五五西村)までご連絡下さい。

★総明会評議員会 各学年代表で構成する評議員会は、今年度3回開催いたしました。

★明治高等・中学校行事への参加

4月6日入学式、7月14日教職員に対する謝恩品贈呈、10月4日体育祭、10月31日・11月1日文化祭、11月6日創立80周年記念式典、2月22日新入会員(平成5年3月卒業・高校三年生徒二四二名)のための説明会、3

平成四年度会計報告

総明会会計 二村 昌也

総明会は、会員各位のご協力によりまして、年々、順調に伸展しておりますが、未だ同期会の結成されていない学年があります。本部も応援いたしますので、同期会を作りたいと思っ

本年度は5年に一度の会員名簿編纂作業と、母校の創立80周年記念に特別寄附金を総明会会計より支出しました。

幸い同窓生でPTA会長でもある山浦会長のご理解もあって、新会員の入会金を増額して頂きましたので、年会費据置き

態で現状を維持しておりますが、来年度は新名簿の印刷費等の大型支出がありますので、財政状態の切迫が予想されます。せつかく立派に充実された名簿ですので、出来るだけ多くの会員諸氏に購入して頂きたいと思

総明会 平成4年度 会計報告

(自)平成4年4月1日～(至)平成5年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	2,688,420	第28回総会経費	4,789,022
第28回総会会費	3,859,000	第18号会報経費	2,204,923
第18号会報広告代	3,894,965	会議費	370,430
平成4年度会費	500,000	通信費	769,099
新会員入会金	2,420,000	事務・印刷費	293,530
雑収入	428,215	公用費	238,139
		活動費	300,000
		雑費	6,935
		新名簿編纂諸費	1,533,724
		母校80周年寄付金	500,000
		次年度繰越金	2,784,798
合計	13,790,600	合計	13,790,600

総明会 平成5年度 予算(案)

(自)平成5年4月1日～(至)平成6年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	2,784,798	第29回総会経費	3,800,000
第29回総会会費	3,000,000	第19号会報経費	2,200,000
第19号会報広告代	3,200,000	会議費	300,000
平成5年度会費	500,000	通信費	800,000
新会員入会金	2,400,000	事務・印刷費	270,000
雑収入	250,000	公用費	300,000
新名簿売上金	2,400,000	活動費	400,000
新名簿広告代	2,500,000	新名簿経費	6,000,000
		基金積立費	2,800,000
		備	164,798
合計	17,034,798	合計	17,034,798

上記の通り報告いたします。監査の結果相違ありません。
平成5年3月31日 平成5年3月31日
会長 向殿 政男 監査 館野 春男
会計 二村 昌也

昭和37年卒

日本動物薬品株・日動食品株・株ニチドウ

代表取締役 吉田 信行

〒124 東京都葛飾区西新小岩4-37-9 TEL (03) 3694-1277(代)

昭和37年卒

株式会社 合 同

代表取締役社長 長 棟 良 元

本社 〒130 東京都墨田区業平2-8-8 TEL (03) 3829-5555(代)

昭和三十七年卒
ホテル国際観光

小林 敏朗

〒140 品川区大井二二二一五
☎ 三三三二二一七六四

昭和三十七年卒
関内ロイヤル歯科

関 泰 忠

〒231 横浜市中区真砂町二二二五
☎ 〇四五二六六二一〇一八五

昭和三十八年卒
(有)加賀屋

金村 守康

〒104 中央区八丁堀二二一五一六
☎ 三五五一四七七

昭和四三年卒
財団法人 家の光協会

高村 守利

〒170 台東区松が谷三二一八二二
☎ 三八四一〇二二七

昭和三十七年卒
浅草合羽橋道具街
高村製罐株

代表取締役 高村 光昭

昭和三十九年卒
(株)くぼい

代表取締役社長 久保井 賢一郎

〒140 品川区大井三二一六二二
会社 ☎ 三三三二二〇九一一
自宅 ☎ 三三三二二〇九一一

昭和三十八年卒
(有)三浦屋

三浦 昭生

〒170 豊島区東池袋二二五七一
会社 ☎ 三三三二二〇九一一
自宅 ☎ 三三三二二〇九一一

昭和三十八年卒

特注家具製造業
(株)共伸製作所

代表取締役

小泉 公嗣

〒136 江東区新木場二二一〇一八
☎ 三五二二二二九〇

昭和三十八年卒

クリニング(株)エンパイヤー

木村 哲夫

〒104 中央区新川二二一六二六
☎ 三五二二二二九〇

昭和三十八年卒
数矢製材(株)

専務取締役 村井 宏次

〒136 江東区新木場二二一四一八
☎ 三五二二二二九〇

昭和38年卒

『二年に一会』

平成4年11月13日 椿山荘に於いて、卒業30年記念『二年に一会』が、生徒約50名・先生6名の出席を戴き盛大に開催いたしました。来年は50歳の節目の年です。人生の折り返し時に、より多くの方々にご参加して戴きたく願っております。まだ同期の方で、参加されていない方、住所が変更された方、連絡住所が不明の方が居りますので、ご連絡ください。

二年に一会 会長 三 浦 昭 生

連絡先事務局 関 戸 淳 一 〒135 東京都江東区高橋14-20 TEL 03-3631-2008

第3回 総明会親睦ツアー

ハウステンボスとヒミコの里見学

＝ 古代と近代をたずねる温泉の旅 ＝

■旅行日程：平成5年11月13日(土)～11月14日(日)

第一日目	11月13日(土)	7:30 羽田空港集合 8:00 出発予定 9:30 福岡空港着、貸切りバスにて出発 <div>元寇の防塁見学⇒虹の松原見学⇒昼食 ⇒名護屋城跡見学⇒伊万里焼窯元見学⇒ 嬉野温泉又は武雄温泉ホテルあるいは ハウステンボス着</div> 18:00 ホテル (嬉野温泉又は武雄温泉又はハウステンボスの予定) 19:00 夕食・懇親会
	11月14日(日)	8:30 ホテル出発(貸切バス乗車) <div>ハウステンボス見学⇒有田焼窯元見学⇒ 昼食⇒ヒミコの里『吉野ヶ里遺跡』見学 ⇒太宰府天満宮⇒福岡空港</div> 17:00 福岡空港帰途 18:30頃羽田空港到着予定、解散

■募集人員：30名予定

■費用：大人1人 69,000円予定 小人1人 65,000円予定
費用には…
羽田・福岡往復飛行機代、宿泊費(1泊4食)、貸切りバス、
拝観料、損害保険、添乗員(バスガイド)含む。

■旅行手配：東武トラベル(3624-6677 担当：中田吉秋)

■申込方法：「総明会事業部 結城康郎 又は 山形英明」まで郵送又は
Faxにて、10月16日(土)迄にご連絡ください。
尚、11月1日(月)以降キャンセルの場合、旅行費用の半額
を申し受けます。

■申込先：	〒105 港区虎ノ門2-6-4 第11森ビル 結城康郎法律事務所 TEL 3506-1151 FAX 3506-1152
	〒105 港区浜松町2-7-8 加藤ビル2F (株)SMB内 山形英明 TEL 3431-2547 FAX 3459-8747

※参加者には後日、日程等が正式に決まりましたら、個別にお知らせします。

昭和三十九年卒

谷 慈義

〒135 江東区森下二一九一八
☎ 三六三一一八〇二九

昭和三十九年卒

北村 元曠

〒104 中央区日本橋一〇一一〇
☎ 三三七一一〇〇〇三
Fax 三三七一一七四〇二

昭和三十九年卒

高木 重昭

〒103 中央区日本橋二一〇一一一
☎ 三三七三二七〇〇
Fax 三三七一一〇〇二二

昭和三十九年卒

海田 耀市

佐藤 仁

七尾 孝房

昭和40年卒

東洋加工株式会社

代表取締役 福島 康 充

〒332 川口市青木4-21-31 TEL 0482-51-5016

昭和四〇年卒

金子 清

〒104 中央区八丁堀三二二二九
☎ 三五五二二一八一(代)
Fax 三五五二二八〇四

昭和三十九年卒

青木 義昭

〒143 大田区仲池上二一七一三
☎ 三七五三二二二

昭和四〇年卒

青木 恒久

〒111 台東区浅草一三〇一一
☎ 三八四四一九五七八

祝 第29回総明会総会・懇親会

昭和39年卒

い い な

一一七 会 (会員一同)

代 表 武 村 隆 二

毎年一月十五日(成人の日)に、NHKホールにて「青春メッセ」全国コンクールが開催されます。このコンクールは従来の「青年の主張」が、平成二年に改称したもので歴史あるコンクールです。

NHK主催

『青春のメッセ』に四年連続出場！

平成四年には特別賞受賞

平成三年には、当時高二の牛島伸介君が、東京大会で優秀賞受賞。発表作品がユニークだったので、全国大会代表にはなれませんでした。別枠で当日発表しました。

平成四年には、当時高二の牛島伸介君が、東京大会で優秀賞受賞。発表作品がユニークだったので、全国大会代表にはなれませんでした。別枠で当日発表しました。

「当日の二日前の夜から出場者は合宿したので、メンバーともすぐに仲良くなり、緊張感はずいぶんありませんでした。しかし、発表が一番目だったので少し心配でしたが、当日はライトがまぶしくて客席が見えず、意外と楽に発表できました」との事です。

平成四年には当時高二の今井高志君(埼玉県代表)が出場しました。「我が青春、応援団」という作品で、彼が所属している応援指導班に賭ける想いを勇ましく、そしてユーモアを交えてアピィ

彦)の成績をおさめました。平成五年は榊原守君が、応募総数四三名の中から選ばれた八ブロック十一名の内、関東甲信越ブロック代表として(アロク大会では優秀賞受賞、他に杉田吉隆君も特別賞受賞)

東京都高等学校応援団

連絡会(仮称)について

応援団コーチ 高村 光昭

夏の風物誌である甲子園大会も終了した。全国の高校球児と地方色を各々出している応援。その中で東京色とは何であろうか？

保管されていた八高校旗

東京都八丈島に兄弟校「明治大学附属八丈島高等学校」(八高とよばれた)が、昭和三〇年までありました。

最近、この八高の校旗が、前八丈町教育長沖山隆一氏(明大OB)によって、保管されていることが明らかになりました。

この校旗は、最後の校長、良田喜久男先生(後に明高校長先生)が閉校後自宅に持ち帰っておられたとの事です。

昭和四〇年卒

株ティ・オー・エス

取締役・技術部長

伊藤 満

〒141 品川区東五反田一〇一八

S&Lビル五階
☎ 三三四六六五〇七

昭和四〇年卒・明優会

株ツボタ

代表取締役

坪田達夫

〒112 文京区音羽一〇二五二一五

☎ 三九四七二四三一

昭和四〇年卒・明優会

株松喜

代表取締役

諸橋良品

〒111 台東区雷門二一七七八

☎ 三三四二二九八三

昭和四〇年卒・明優会

利憲

利田禧親

〒130 墨田区両国四一九一六

☎ 三六三一六六四一

大関電設株

昭和四〇年卒

大関清人

昭和四七年卒

大関邦二

〒115 北区赤羽西四一三二五

昭和四〇年卒

株松屋産業

代表取締役

加瀬好久

本社 千134 江戸川区北葛西一〇二二〇

昭和四二年卒

株イトウ

代表取締役

伊藤秀文

〒111 台東区浅草橋三六一一

昭和四二年卒

マンドリン奏者

村山雄三

昭和四五年卒

有山梨美術印刷

山本龍三

〒112 文京区水道橋二二二二四

昭和四六年卒

魚河岸 米金

橋本和彦

昭和四〇年卒・明優会

利憲

利田禧親

〒130 墨田区両国四一九一六

☎ 三六三一六六四一

昭和四〇年卒・明優会

株マチダ

代表取締役

荒木 毅

昭和四〇年卒

株マチダ

代表取締役

望月義宣

〒121 足立区南花畑二一八一五

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

片山三隆

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

花岡伸夫

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

飯田 宏

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

関口一男

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

昭和四〇年卒・明優会

利憲

利田禧親

〒130 墨田区両国四一九一六

☎ 三六三一六六四一

昭和四〇年卒・明優会

株マチダ

代表取締役

荒木 毅

昭和四〇年卒

株マチダ

代表取締役

望月義宣

〒121 足立区南花畑二一八一五

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

片山三隆

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

飯田 宏

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

関口一男

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

飯田 宏

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

昭和四〇年卒・明優会

利憲

利田禧親

〒130 墨田区両国四一九一六

☎ 三六三一六六四一

昭和四〇年卒・明優会

株マチダ

代表取締役

荒木 毅

昭和四〇年卒

株マチダ

代表取締役

望月義宣

〒121 足立区南花畑二一八一五

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

片山三隆

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

飯田 宏

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

関口一男

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

飯田 宏

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

昭和四〇年卒・明優会

利憲

利田禧親

〒130 墨田区両国四一九一六

☎ 三六三一六六四一

昭和四〇年卒・明優会

株マチダ

代表取締役

荒木 毅

昭和四〇年卒

株マチダ

代表取締役

望月義宣

〒121 足立区南花畑二一八一五

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

片山三隆

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

飯田 宏

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

関口一男

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

飯田 宏

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

昭和四〇年卒・明優会

利憲

利田禧親

〒130 墨田区両国四一九一六

☎ 三六三一六六四一

昭和四〇年卒・明優会

株マチダ

代表取締役

荒木 毅

昭和四〇年卒

株マチダ

代表取締役

望月義宣

〒121 足立区南花畑二一八一五

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

片山三隆

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

飯田 宏

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

関口一男

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

飯田 宏

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

昭和四〇年卒・明優会

利憲

利田禧親

〒130 墨田区両国四一九一六

☎ 三六三一六六四一

昭和四〇年卒・明優会

株マチダ

代表取締役

荒木 毅

昭和四〇年卒

株マチダ

代表取締役

望月義宣

〒121 足立区南花畑二一八一五

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

片山三隆

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

飯田 宏

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

関口一男

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

飯田 宏

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

昭和四〇年卒・明優会

利憲

利田禧親

〒130 墨田区両国四一九一六

☎ 三六三一六六四一

昭和四〇年卒・明優会

株マチダ

代表取締役

荒木 毅

昭和四〇年卒

株マチダ

代表取締役

望月義宣

〒121 足立区南花畑二一八一五

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

片山三隆

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

飯田 宏

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

関口一男

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

代表取締役

飯田 宏

昭和四〇年卒・明優会

有サンコー

昭和四〇年卒・明優会

利憲

利田禧親

〒130 墨田区両国四一九一六

☎ 三六三一六六四一

昭和四〇年卒・明優会

株マチダ

代表取締役

荒木 毅

昭和四〇年卒

株マチダ

代表取締役

望月義宣

〒121 足立区南花畑二一八一五

昭和四〇年卒・明優会

中学校志願状況			
年度	1991年	1992年	1993年
募集人員	約150名	約150名	約150名
志願者数	1429名	1208名	1390名
合格者数	232名	220名	238名
入学者数	148名	147名	141名
倍率	6.2	5.5	5.8
満点	350点	350点	350点

高校志願状況			
年度	1991年	1992年	1993年
募集人員	約100名	約100名	約100名
志願者数	887名	819名	730名
合格者数	157名	136名	134名
入学者数	102名	82名	90名
倍率	5.6	6.0	5.4
満点	320点	320点	320点

過去三年間の
明中・明高の入試の状況

1994年 生徒募集要項決定

1994年生徒募集要項が決定しましたのでお知らせします。
同窓生の子息の健闘を祈ります。

	高等学校	中学校
募集人員	約100名(男子)	約150名(男子)
受付期間	1月25日～2月7日	1月20日～1月24日
入学検査日	2月18日	2月3日
合格発表日	2月19日 正午(掲示)	2月4日 正午(掲示)
入学手続日	2月21日・22日	2月7日・8日
出願手続	郵送受付	郵送受付
検査日の集合	午前8時10分 試験場	午前8時10分 試験場
面接	受験生	
検査科目	国語・数学・英語	国語・社会・算数・理科

学 費			入試科目の試験時間と配点		
未定・1993年の例					
	高 校	中 学	高 校		中 学
				時間	配点
入 学 金	290,000	290,000			
授業料(年額)	390,000	420,000	国 語	50分	100点
そ の 他	145,000	145,000	数 学	50分	100点
初 年 度 合 計	825,000	855,000	英 語	60分	120点
内、入学手続時	415,000	415,000			

総明会窓口業務
担当交替のお知らせ

平成五年四月より明大法学部を卒業されました西村奈里子さんに、総明会窓口業務をお願い頂いております。
総明会に関するお問合わせ・住所変更等については、栗野先生又は、西村さんにご連絡をお願い致します。

☎ 〇三(三三九六)四五五五
Fax 〇三(三三九六)四五八二

◎恩師計報

吾妻キヨ元教諭 平成5年1月12日逝去(享年75歳)
昭和24年より30年間養護教諭として在職され、昭和53年定年退職。同窓会に対しても多年に亘りご支援を頂きました。

昭和四十七年卒

大量仕入大量販売
肉のテラシマ

寺島祥雄

〒112 文京区根津一―一二二
☎ 三八二八―五二二
Fax 三八二八―三六八

昭和四十七年卒

株川合染工場

川合 章

〒131 墨田区向島四―二四―八
☎ 三六二二―六七六

昭和四十八年卒

ピアノサロン 静

ニューバブ ネプチューン

三品正晴

祝第二九回総明会総会
第一生命保険相互会社
上野支社 上野西支部

指導所長 浅見美佐子

支部 〒110 台東区上野六―一―一
小西本店ビル四階
☎ 三八三九―五〇九七

すし処 うさ美

宇佐美守
(明大OB)

〒130 墨田区錦糸三―一〇―一
☎ 三六二二―一九六七

株川三精肉

代表取締役 有賀清文
(明大OB)

〒110 台東区根岸四―一八―一
☎ 三八七二―三三〇八―九

作曲・編曲家

佐伯 亮
(馬場 良)

祝・第二九回総明会総会

昭和四十一年卒(幹事学年)

有馬 博	小管 久男	浜田 豊
石井 俊文	佐藤 康男	早森 健一
石田 晃	霜越 満男	広瀬 準
石田 正憲	杉山 茂	福田 秀夫
井上 健一	鈴木 修	福田 隆二
岩崎 孝雄	鈴木 幸也	福嶋 恵彦
岩重 哲雄	高沢 邦雄	藤川 靖夫
上山 幸男	高橋 正浩	本多 昭一
大沢 幸之助	竹沢 順一	前崎 富男
大山 実	橋 知紀	梶本 行男
小川 秀次	田中 一夫	緑川 正行
尾島 育四郎	角田 敏彦	三好 浩二
柿沼 延昌	豊田 和夫	村田 芳実
亀井 肇	中井 康人	八尾 正光
川越 豊統	中嶋 純之	矢野 博
川名 統之	中島 平人	矢作 健太郎
菊池 博道	中西 秀男	安岡 孝進
菊本 哲也	中山 邦雄	山口 輝隆
木坂 修	永野 勉	山田 豊
木島 孝	名倉 昇	山本 伸公
木下 良一	西田 光作	吉住 雅夕越
工藤 建次	二瓶 正一	吉村 壱郎
熊野 篤良	橋本 猛	

ちやんこ
しゃぶーしゃぶ

五知

中富

昭和四十一年卒
中嶋 純之

〇三(三三九四)九二五五
〒114 北区王子一―二三(一番街ビル)

ちやんこ 中富

飛鳥山 スカイハイツ

大和銀行

北本通り

富士銀行
三菱銀行

王子公園

住友銀行

ヤマワ

協和銀行

バスターミナル

JR王子駅

←至赤羽 至上野→

学校の思い出



恩

樋山正士

師

毎回お心にかけて御案内を戴きながら、何故かいつもかけ違つてしまい申し訳ないことですが、総会に私はまだ一度も出席しておりません。それで皆様方と御無沙汰のし放ししておりますことを先ずもってお詫び致します。私は1950年に23才の若さで明中高に奉職してから昨年3月まで、専任教諭として37年、その後の講師5年を合わせて42年もの長い年月、本当にお世話になりました。明中高は先年創立80周年を迎えたので、私はその歴史の半分を超えて過したことになります。

大正の大震災にも、あの大戦の大空襲にも耐えて残った赤煉瓦造りの校舎に初めて赴任した時、いかにもどっしりと古い伝統に満ちた学園だと身のひき緊まる思いを味わったのですが、今の境遇になってそれに思い至ると、光陰のあまりの早さにただもう口がつぐんでしまいます。ともかく私は、戦後日本の初にして最大の学制改革で、「明治中学校」が「新制明治中学・高校」に移行して再発足した当初から現在に至るまでの激動と言える教育界で、私なりに精いっぱい仕事にうちこめたのは幸せですが、しかし何せ私にとって明中高は厳しい職場ですから当然のこと、楽しい・辛いといわゆる悲喜交々の色々なことがあって、一教師としても一個人としても数々の貴重な経験や勉強をさせ

て貰いました。ですからこの度「明中高の思い出を」と原稿依頼を受けたものの、思い出したら止めどがなくなつて、私はいったい何を取り上げて書いたら良いものか、ペンを持ったまま戸惑つてしまいました。どうやら一般的にこの種の懐古談では、今昔の明中高生の対比に興味を持たれるようで、皆さんに「変わったか」と問われれば確かにその通り随分変わったものだと応えることになります。私どもの年令の者は、戦前・戦中・戦後という言葉をよく使ったものです。

あれ程のどえらい戦争と敗戦を挟んでの世相の激変だったもので、こうした言葉が生まれたのも当然でしょう。私などは自らを戦中派と見做して先輩方や後輩諸氏をかなり意識して見た時期もありました。結局はその住む時代の世相が、とくに少・青年期の人間形成に大きく影響しているのは否定できぬ事実だと思います。時が経ち時代が変われば世相も変わり、人々のものの見方も考え方も変わる、それで人はその時代に順応して生きて行けるものなのでしょう。でも私は、毎年入学してくる中1の諸君はいつも同じあどけなく可愛い12才の少年で、卒業して行く高3の諸君はいつも逞しく成長した同じ18才の青年達なのだと思っています。変わったのはむしろ彼らの年代から遙かに年を経た我々の見方の方だった

のではと気がついた時、私はいつの時代も若さとは何と素晴らしいものかと羨ましくなりました。と同時に人間誰でも今のこの瞬間が自分の人生で一番若い瞬間なのだと気がついて、現在の己れを大切にしないでと心を新たにしています。教育の場で特に瞳目するのは学問の成果に伴う教育内容の進歩と充実です。私の主として担当した生物学の場合も今やバイオの時代と呼ばれてそれこそ日進月歩の急進展で、中高の教科書にも次々に新しい知見が導入されて来ましたが、教師たる者これに即応して勉強せざるを得ないのは必然です。私の場合は母校の研究室に通うことで折にふれて新しい知識を身につけることができましたが、そのうち更に意欲が湧いて来て、長い年月かかりはしましたが「実験小動物に寄生する原虫類」の研究発表などもできるようなになり論文提出にも結びつけられたのは幸運でした。現在は明治大学の3学部と他の女子短大などで生物学や自然科学の授業を担当しています。週に一日ですが駿河台校舎にも出講します。明中高生諸君とよくすれ違ふのです。でももう誰も私を見知ってはくれないのはおらず、目も合せて貰えないのはやはり寂しいですね。

末筆ですが皆様も益々元気に御活躍下さい。

昭和四一年卒
(有)馬屋
有馬 博
〒114 台東区千束一五三
☎ 三三七三二一八
☎ 三三七五二五三八

昭和四一年卒
有石田商店
石田 晃
〒108 港区三田三三三
富士銀行三田支店前
☎ 三四五二一八八六
☎ 三四五二一八八六

昭和四一年卒
石田正憲
〒271 松戸市新保一三四二
☎ 〇四七三六七二〇九

昭和四一年卒
伊勢宇酒店
大山 実
〒350 02 埼玉県坂戸市伊豆の山町
☎ 〇四九二一八三三
☎ 〇四九二一八三三

昭和四一年卒
(株)川正
代表取締役
川名統之
営業所 〒144 大田区東海三二二六
東京大田青果市場内
☎ 五九九二一三五二
☎ 五九九二一三五二

昭和四一年卒
昭和一一年卒
帯地専門卸
(株)木坂
木坂 修
〒103 中央区日本橋人形町一四二五
☎ 三六六九一四四九
☎ 三六六九一四四九

昭和四一年卒
小菅商店
小菅 久男
〒210 川崎市幸区幸町四一三
☎ 〇四四一五一一三
☎ 〇四四一五一一三

昭和四一年卒
トレッドウインド(株)
代表取締役
佐藤康雄
〒101 千代田区内神田一六六
佐藤ビル
☎ 三三二九一三八九
☎ 三三二九一三八九

昭和四一年卒
(株)イセヤ
代表取締役
鈴木 修
本社 〒104 中央区京橋三二二
☎ 三五六一一七五〇
☎ 三五六一一七五〇
Fax 三五六一一四七四

昭和四一年卒
(株)ツノダ
角田敏彦
〒112 文京区関口一三三六
☎ 五二六一一九一六
☎ 五二六一一九一六

昭和四一年卒
名倉 昇
〒120 足立区千住中居町二四二二
☎ 三八八八二九五五
☎ 三八八八二九五五

昭和四一年卒
中山邦雄
〒151 渋谷区代々木五五五七
☎ 三四六七一九三六
☎ 三四六七一九三六

昭和四一年卒
(株)サンピコ
浜田 豊
〒177 練馬区石神井町一四一八
☎ 三九九六一八〇五
☎ 三九九六一八〇五

昭和四一年卒
本多 昭一

昭和四一年卒
福田秀夫
〒352 新座市野寺二二二六
☎ 〇四八四一七七九
☎ 〇四八四一七七九

昭和四一年卒
三好靴下製造所
三好 浩司
〒170 豊島区東鴨一三三三
三好ハイッソ
☎ 三三九四一四七三
☎ 三三九四一四七三

(株)山田屋
昭和四一年卒 服部洋一
昭和四四年卒 服部雄二
昭和四四年卒 大導師和幸
〒101 千代田区神田佐久間町四三三
☎ 三八六一七五五六
☎ 三八六一七五五六

昭和四一年卒 剣道部
田中一夫
平野雅久
高橋信夫
高橋俊明

昭和四一年卒
(株)八尾商店
八尾 正光
〒三三三 三三三
☎ 三三三三三三
☎ 三三三三三三

昭和四一年卒
(有)真栄社印刷所
高橋正浩
〒104 中央区湊二二二八
☎ 三五五一〇九九三
☎ 三五五一〇九九三

昭和四一年卒
井上文具店
井上 健一
〒131 墨田区東向島四三三三
☎ 三六一一四四三四
☎ 三六一一四四三四

昭和四一年卒
大和土地建物(株)
榎本行男
〒114 台東区東浅草一六六六
☎ 三三七二二七五
☎ 三三七二二七五

昭和四一年卒
LAWSON
市川大野店
福島恵彦
〒272 市川市南大野一四二四
☎ 〇四七三三三九
☎ 〇四七三三三九

昭和四一年卒
(株)アロイ
取締役社長
西田 光作
〒105 港区浜松町一五五〇
アロイビル
☎ 三四三三三三
☎ 三四三三三三

結婚式披露宴・二次会・同期会
各種パーティー承ります。
70~100名様 立食¥7,000より
D/a/D/a
〒107 東京都港区北青山2-11-15
TEL 03-3401-4008 FAX 03-3402-5007
山口 輝隆 (41年卒)

昭和四一年卒
(有)豊田印刷紙工社
豊田 和夫
〒104 中央区八丁堀三三三三
☎ 五五六六八三三八
☎ 五五六六八三三八

昭和四一年卒
東京商工会議所
橋本 猛
〒100 千代田区丸の内三二二二
☎ 三三三三三三
☎ 三三三三三三

昭和四一年卒
(株)アロイ
取締役社長
西田 光作
〒105 港区浜松町一五五〇
アロイビル
☎ 三四三三三三
☎ 三四三三三三

学校の思い出

落合 茂 二
(昭和二年卒)

七〇年前のこと

関東大震災前後

大正十一年(一九二二)入学のわれわれ明士会員は、昭和二年(一九二七)卒業以来七〇年あまりになる。

おぼろな記憶をたどると、入学試験は駿河台の明大教室。

志願者は一千人前後であったが、試験場は空席が目立っていたから、定員一五〇名も実質競争率は五倍程度だったろう。

新学期は明大教室ではじまったが、間もなく猿樂町に落成した新校舎に移った。駿河台から猿樂町まで、椅子を担いでいった覚えがある。鉄筋四階建ての新校舎は、当時の中学としてはモダンなものであった。裏手の鉄の手擦りのある高い石段は、パリのカルチェラタンの石段に

似ているので、多くの好きな場所の一つであった。

一年のとき、校舎右手の空地に土俵が設けられ、相撲大会が開催された。ぼくも銅メダルを貰った覚えがあるから、参加賞だったのだろう。大相撲五月場所で源氏山が横綱を張った当時である。

翌十二年九月一日(土曜日)

は二学期の始業の日、七時始業の四〇分短縮授業で、一〇時すぎに下校した。ぼくが筑土八幡裏の寄宿先(伯父の家)に帰ったのは十一時すぎだったが、間もなく十一時五十分四秒、マグニチュード七・九の関東大震災が襲った。(死者九万余・行方不明四万余)本所・深川から通

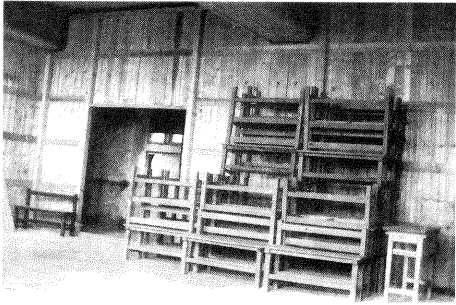
学の同級生などは、帰宅途中のものもあつたに違いない。明中の「六十年の歩み」には、校舎が焼けたのは午後二時とある。

附近の避難者が校庭に持ちこんだ家財に引火、これが校舎に燃え移ったらしい。

新聞広告で八月二〇日、麻布中学で間借り授業開始を知り、町田の郷家から帰京した。午後〇時半から四時半までの四〇分授業で、当日の参集者は、全校七二八名中四五九名、ぼくら二年B組は三五名中二〇名たらずであった。一日の始業日に隣席

にいた本所石原町の森秀行君の姿がなかったのは、近くの被服廠あと四万余の犠牲者のなかに入っていたのだろうか。目玉の大きな少年であった。

応急修理の教室



▼全焼の本校舎



焼けた校舎が応急修理を終え、年末までに復帰したが、ベニヤ板を張った教室は殺風景で、洒落た四階の階段教室も復活しなかった。

Conductor
Violinist

(有)杉山紙文具店

杉 山 茂 (昭和41年卒)

〒136 江東区大島2-20-15 TEL (3681) 9646 (代)



“肉の大沢” 直営レストラン

キングステーブル

ステーキ・しゃぶしゃぶ・すきやき
しゃぶしゃぶ食べ放題 2,000円

3802-4129

ヨイニク

〒116 荒川区南千住7-3-16

大澤 富次 (昭和41年卒)

大澤 保男 (昭和48年卒)

昭和41年卒

株式会社 豆幸木下商店

木 下 良 一

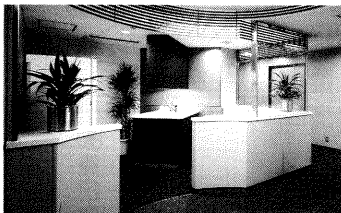
〒130 墨田区錦糸2-3-11 TEL 3625-3848

快適安全で豊かなビル環境

ビル経営から維持管理まで
迅速かつきめ細かな
サービスを実現

こまったな？

- ・賃料改定
- ・テナントクレーム処理
- ・管理人が居ないので心配
- ・水漏れすぐ来てくれるかな
- ・床汚れすぐ清掃してくれるかな



東陽町のビルオーナーの方サスセンターネットワークで安心です
担当は中嶋隆久です お気軽にお電話ください

株式会社 サスカンパニー

〒135 江東区東陽2-4-24 サスセンター TEL (5690) 3400

代表取締役 伊藤 順一 (昭和41年卒)

選び抜かれたおいしさと
使いやすさのホーネンブランド

- 「豊年油〈大豆白絞油〉」
- 「豊年サラダ油〈ウルトラメロン〉」
- 炊 飯 油
- HOPシリーズ

株ホーネンコーポレーション首都圏支店

〒135 江東区木場2-17-2 SAビル TEL (03) 5245-4326



ホーネンコーポレーションは
清水エスパルスを応援しています。

学校の思い出

寺村 武 二

(昭和二十六年卒)

終戦直後の
水泳部の思い出

プールの無い学校の水泳部が誕生したのは、戦争が終結した翌年の頃だったと思う。

焦土と化した東京の街もどうやら復興の槌音が聞こえる様になったが、食べる物などは闇市でなくては手に入る事など出来ず、勉強にも身が入らない生徒が多い頃だった。

水の好きなもの達が一人、又一人と集まり、水泳部らしきものが出来たが、プールが無く泳ぐ事が出来ないで、友人や先輩達のとてを頼りに、あちらこちらの学校のプールを借りて夢中になって泳いだものでした。

高師附属中の深いプール、都立五高のプールは小学校の先輩がいましたのでそこを借りて、又、蔵前工業高のプールには、我々と同じ様にプールの無い水泳部が何校か来て、合同練習をしたものです。

その頃の硬式野球部は、午前中の授業が終ると、午後は練習の為授業は免除と非常にめづまれており、私も野球部の方が良かったなうと思ったりしていました。そして此の練習が後日、甲子園への出場となった事だと思えます。

私が始めて大会に出場。それは東伏見にある早大のロングコースのプールでした。スタート台に立つと五十米のプールの長い事、向こうへ行つて帰つて来

る事の方が心配でスタート、水は水藻で底のコースラインは見えず、飛込んで夢中で泳いで行くゴツンとプール壁にぶつてしまひ、コースをはずれて失格。

惨々なデビューでした。高校になって部も学校の認可クラブとなりなんとか形が付いては来たが、依然としてボヘミアン的な活動でした。リレーの選手が一名どうしても足りない時は、泳ぎ仲間を一人明治の水泳部員として登録をしてどうか人数を補充して大会に参加した事などもたびたびでした。

先輩の話をひとつ披露しますと、部長になったI先生が試合会場へ行ってみると、我校の水泳部は誰れ一人参加しておらず、あちらこちらを捜し歩きました。が、遂にあきらめて帰宅、以後しばらく水泳部には部長先生がつかまませんでした。

高校の頃、大学の水泳部の指導を受けた事が川口市の小学校のプールで一度あったんです。まず「ロング千米」のコールでスタート、その頃千米など練習で泳いだことなどなく、それでも無中で泳いでいたのですが「もう上れ、時間が無駄だ」など下駄で頭をたたかれて練習終了、それでも水が好きなのか翌日も又参加……。

我々の頃はプールの状態も非

常に悪く、泳がせて頂く事が出来ず随分苦労をしました。

秋の大会が近づいた頃、学校の並びに今もある小学校のプールを借りる事が出来たのです。それは夏休みに小学校の水泳指導のアルバイトを一生懸命一日も休まずにお手伝いをし、先生方やPTAの人々の信用を得て、遂に学校の始まる前の時間を一時間借りる事が出来たのです。

七時から八時まで。学校までは五分もあれば着かえて出席出来るし、朝のすがすがしい中で

の練習はとても我々にとっては、実の入った練習が出来、おかげで部員一同収穫の多い特訓となりました。

一週間も続いたある日、部長からキャプテンが呼ばれ、先ず窓に赤いフンドシを干す事が禁じられました。我々が学校へ着くとすぐ赤フンドシを窓に干していたのを、近くの女子校から苦情が入ったとか、それもそのはず、外から見たらナントフケツに見えた事でしょう。

それにまだオマケがついていたのは、練習が非常にハードであったか、部員一同一時間目はお休みの人が多い事がわかり、キツイおしかりを受けました。

プールの無い水泳部員が、まだくく多くいるのは頼もしい事だと思ふ。

明水会（OB会）は不滅です。

昭和四十一年卒
岡部テック(株)

中西秀男

〒130 墨田区業平三二四一四
☎ 三六二四一五一八

昭和四十一年卒

たち花や
橋 知 紀

〒157 世田谷区砧1-28-11 TEL 3417-0281

こんにやく・白滝製造卸
美津和食品(有)

昭和四十一年卒

代表取締役

菊池博道

昭和四十六年卒

常務取締役

菊池満

〒110 台東区下谷三二四一五
☎ 三八七二一五四二七
Fax 三八七一八三八八

昭和四十一年卒

キングレコード専属

井上てつや (廣瀬 準)

井上てつや艶歌教室
スナック 井上てつやの部屋

〒101 千代田区神田須田町1-10 ☎ 3254-6237

昭和四十一年卒

天 菊 本 紙 業
菊 本 哲 也

〒130 東京都墨田区千歳2-14-7
TEL (3631) 0366・1076 FAX (3635) 8444

エスニックなポーゴヨライスの店

CARRY SHOP
CHAPS
TEL (3551) 8843

藤 川 靖 夫

〒104 東京都中央区八丁堀 2 丁目16番 4 号

白ひよ

刺身美家古

濱り席下に行灯の欠
お座敷や麻子にそま
すつてお料理の肉と
考えております

墨田区向島五三三三

三六二二一三八五〇代

昭和四十一年卒

株式会社美家古
亀井肇

昭和三十二年卒

尾島康次郎

昭和三十四年卒

尾島雄三郎

昭和四十一年卒

尾島育四郎

三徳印刷株式会社

本社

中央区八重洲二一六二二
(三徳八重洲ビル十階)

営業所

中央区京橋二一三三四
☎ 三三八一三〇一六代

徳栄不動産株式会社

本社ビル

中央区八重洲二一六二二
☎ 三三七一九七三七代

第二三徳八重洲ビル

中央区八重洲一五一十

三徳日本橋ビル
中央区日本橋室町四二一九

学校の思い出

杉山 茂 (昭和四一年卒)

「校旗に対し礼」

二十年振りだろうか。この独特な半円形の正面玄関。重厚な木彫りの扉。背もたれの後ろに小さなテーブルのついた椅子。そしてロココ調の内装。あの頃よりは少しは綺麗にペンキを塗ったのだろうか、レリーフのついた壁面がオフホワイトに輝いている。舞台も同じ姿であの暗い照明に浮かび上がっている。この舞台に立つのも大学を卒業した二・三年後以来、久方振りである。去年の九月のある晩、私は、自分が大学時代に所属していたクラブ、明治大学交響楽団の後輩達の前へ、指揮者として立っていた。あの頃とほとんど何も変わっていないような、この明治大学記念館講堂の舞台で。私が携わっている江東区音楽家協会でオーケストラが必要になり、後輩達へ出演依頼をし、その練習場所である記念館講堂へ、二十年振りに来ていたのである。私にとってこの記念館講堂は、大学時代のクラブ活動の拠点として思い出に残っているばかりではない。もっと以前、大学時代からさかのぼる十年程前に、今でも鮮やかな思い出を残してくれている。

私と記念館講堂の最初の出会いは、明治中学の入学式の時である。中学進学に運よく明治中学へ合格した私は、入学式の式場である明治大学記念館講堂の中で、胸をワクワクさせながら座っていた。それまで見たこと

もない大きな講堂、高い天井、丹念に装飾が施された壁面や柱。舞台の上には威厳のある諸先生方が並んでいらっしやる。すばらしい大学の校旗も掲げられている。そして背もたれの後ろに小さなテーブルのついた座席には、自分と同じように、いがぐり頭の二百二十名程の、何かまだ学生服の似合わない新入生が、神妙な顔付きでこれから起こる事を固唾を呑んで見守っていた。式が進む中、白い手袋をした先輩の学生が、金モールで飾られた校旗を捧げもち、我ら新入生の間の通路を静々と進み、舞台に上り正面へ向き直っている。司会者の「校旗に対し礼」という発声と共に全員起立して、その学生の捧げる校旗に向かって一礼をした。その他の式次第は、三十三年も前の事で忘れてしまったが、この「校旗に対し礼」という一事だけは、今でも自分の脳裏に鮮やかに焼き付いている。それまで体験したことのないような、荘厳で厳粛な一連のセレモニーは、その建物と共に子供の私に対して強烈な印象を与え、鮮烈な記憶を植え付けたのである。

「校旗に対し礼」というこの所作は、今思えば、詰襟の学生服に革靴を履き、国電に乗って通学することで、ちょっとしたばかり大人の仲間になったような、そんな背伸びした少年達にとって、学生生活にプライドをもつこと

を喚起させ、「明治」という名への責任を抱かせる、重要な儀式だったような気がする。

この記念館では、私自身にとつて忘れられない、貴重な体験がもう一つある。多分それは中学時代だったと思うが、中高全校生徒が記念館に集まった折りに、私がヴァイオリンを独奏した事があった。音楽のライオン(失礼)こと丸山先生の推挙によるものだったのか定かでないが、当時練習していたメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲の第一楽章を、伴奏もなしに演奏したのである。どんな演奏をしたのか、今ではセピア色に変色した、おぼろげな思い出だけが残っているが、この演奏はその後大学時代に続く因縁であったのかも知れない。大学の交響楽団に所属し四年生になった私は、ソリストとして、このヴァイオリン協奏曲を演奏会で演奏することになり、今度はオーケストラを伴奏に、記念館の舞台で幾度となく練習したのである。

記念館講堂は私にとって学生時代の強烈な思い出の場として、明中・高・大と十年間存在した。また何年か何十年か先に、この記念館へ立ち寄った時、あの「校旗に対し礼」という、少年の日の感動を思い起こすことが出来るような人生を、これから歩んでいきたいと祈らずにはいない。

祝総明会 第29回総会

明水会

明治中学・高等学校水泳部OB会 会長 寺村武二(昭和26年卒)

昭和三〇年卒 西秋忠男 〒101 千代田区西神田二一八―一二 ☎三三六―二七四四	昭和四一年卒 青木 登 田中計三 日栄精工(株) ☎三九五七―二二二六	昭和四一年卒 明窓会(昭和二八年卒) 寺村 武二 寺村 一義 〒113 文京区本郷二一九―一一 ☎三八一―三六六六代	昭和三三年卒 ガンナンドー貿易 代表取締役 西塚邦雄 〒101 千代田区神田小川町三二―二 東京古書会館内 ☎三三九四―三四七三	昭和三四年卒 貸画廊 ギャラリー嶋 村嶋大三郎 〒107 港区赤坂二二―二二 ☎三五八三―三八三三	昭和三六年卒 うなぎ かねい 鈴木隆夫 〒101 千代田区神田神保町一五二 ☎三三九―一九二二	昭和四一年卒 岡三証券(株)仙台支店 支店長 高澤邦雄 〒980 仙台市青葉区本町二二―二二 ☎〇二二―二六五―一七二八	昭和四二年卒 和菓子製造・販売 (有)伊勢屋商店 池田信義 〒104 中央区八丁堀三二―八二 ☎三五五一―四五七四	昭和四二年卒 ゴム・石綿各種パッキング・ガasket 株チウウセキ 土屋隆昭 〒140 品川区南品川六―七―四三 ☎三四七二―〇九〇一
---	---	---	--	---	---	--	--	--

祝総明会 第29回総会

見心会

明治中学・高等学校剣道部OB会

総合建設 浅野工務店 浅野 久 〒270 松戸市小金清志町三二五九 ☎〇四七三―四一―二二四三	■営業時間 午前11時30分～午後10時30分 *午後3時～5時は準備中 ラストオーダーは午後9時30分となります。 ■年中無休 〒270 松戸市八ヶ崎一〇〇五番一 ☎〇四七三―四七―一一二九	昭和四四年度卒 同期会 獅子の会 幹事長 吉田耕太郎 総務幹事 高橋 功 " 山形英明 " 米長 博 " 松本勝彦 " 新倉章次 " 比留間竹郎 " 中村裕次 " 榊原光一 " 星野 勲 " 大石喜代司 " 中村信也 " 北島一弘 " 石川雅経 " 近藤彰克 " 山野井英男 幹事一同 同期一同
---	--	--



昨年の第28回総明会総会 (於：椿山荘)

第29回総会報告

昨年度幹事

40年卒 明優会

第二十八回総明会総会が、平成四年十一月七日(土)夕刻、目白椿山荘で開催されました。

総会では、向殿政男新会長の選出や、各種報告の承認・可決し、終了した。その後、懇親会に移り、来賓・恩師を交じえた、会場いっぱい出席者は、アトラクションなどで歓談し、午後九時すぎ散会した。

幹事学年として、ご報告とともに、みなさまのご協力に感謝いたします。

「一生に一度のご奉公」を、言葉に、同期生を結集し、準備を開始したのは、一年前でした。前回の総会に「次回幹事学年と紹介されるので、頭数を」と米山君の要望で、軽い集まった、二十数名が出席した。

それまで同窓会は、母校の教師だった故・田村君と、彼にまかせっぱなし。同期会も一人で切り盛りしているの、その罪滅しのつもりだった。

最初は、母校の八十周年に合せ、「盛大に」とか「豪華な記念品」とかいせよく、また、会合を口実にゴルフや飲み会。会議は同期生のウワサの交換で、同期会気分だった。

二月に、評議員会の承認を受けるほど、計画が固まってくる、と、「コレハオオゴト」。

あわてて、同期会の名簿を整備し、同期会を開いて、「一生に一度のご奉公」を口説き文句に、協力をたのみ、総会会費の前払いとして、金集め。バブル崩壊で、収入の大半を

占める、参加料と協賛広告の見通しが立たず、記念品の数も決まかねていた。

協賛広告も、初め、出足が悪く、担当者は東奔西走。

そんな中で、各部門の準備は着々と進み、夏休みが近くなり、結局、最後には、会報の原稿を削って、広告のスペースを確保するほど、ご協力をいただきました。

これで、予算のメドも立ち、記念品の数も決まりました。あとは、当日。広い受付ロビーに、準備の同期生が集まり、六時の開場に向け、用意を始めた。

その内、待っている方が多くなり、受付時間を早めるほど、出席者の出足がよく、一安心。

しかし、準備した署名帳が足りなくなりそうになり、今度は、パニック。

受付はその整理のため、総会場に行くヒマがなかった。会場は、前日の八十周年記念

式典の余韻もあつた、大盛況。帰りに渡す記念品のチョコッキの数は、大きく不足し、同期生は後日、送ることになった。



明 雪 会

(明治高校スキー部OB会)

名譽顧問
水落八郎

顧問
大津富士男
(昭和二十八年卒)

顧問
佐藤健一
(昭和三十一年卒)

顧問
村田博親

顧問
西村英之

会長
若松弘昌
(昭和三十三年卒)

副会長
米山廣昭
(昭和四十年卒)

副会長
堀 真寿
(昭和四十六年卒)

事務局長
五十嵐公一
(昭和五十四年卒)

ヘッドコーチ
伊藤真之
(平成三年卒)

明高柔道部OB会

相談役

昭和三十年卒 福田二郎

昭和三十一年卒 佐藤康明

昭和三十三年卒 田中章雄

顧問

昭和三十五年卒 大村勝利

昭和三十六年卒 鳥海又五郎

会長

昭和三十八年卒 小川洋一

副会長

昭和三十七年卒 中谷捷治

昭和三十八年卒 井上和洋

昭和三十九年卒 中野一郎

幹事長

昭和三十九年卒 中本義行

幹事

昭和三十九年卒 佐々木隆夫

昭和四十年卒 辻井俊一郎

昭和四十年卒 中島平人

昭和四十年卒 金子淑夫

昭和四十年卒 市倉 務

昭和四十年卒 今井振二

昭和四十年卒 加藤木裕司

昭和四十年卒 長野克彦

昭和四十年卒 濱本義典

昭和五十年卒 近藤吉彦

昭和五十年卒 小山美津男

昭和五十二年卒 大谷晴彦

昭和三十年卒
財団法人 東京都柔道連盟
専務理事 福田 一郎
〒112 文京区春日一六三〇
☎ 三八一八五三九
Fax 三八一八四二四六

昭和三十一年卒
代表取締役 佐藤康明
〒101 千代田区神田紺屋町六
☎ 三三二一八四一

昭和三十三年卒
雄和企画(株)
代表取締役 田中章雄
〒105 港区東新橋一三三
☎ 三五七二二七三

昭和三十六年卒
財団法人 全日本柔道連盟
事務局長 鳥海又五郎
事務局 〒112 文京区春日一六三〇
☎ 三八一八四一九九

昭和三十七年卒
中谷捷治
〒157 世田谷区北島山一三八八
☎ 三三〇八八七五八

昭和三十八年卒
一般木材販売及造作工事
木材問屋
㈱丸水商店
昭和三十八年卒
取締役社長
小川洋一

昭和四十年卒
小川秀次
〒136 江東区新木場一九一六
☎ 三五二一八八〇一
Fax 三五二一八八〇四

昭和三十八年卒
タウニッシュ イノウエ

〒272 市川市八幡四一六二
☎ 〇四七三三四一四六二四

昭和三十九年卒
㈱日本工業検査

中本義行

〒340 草加市青柳四〇九六二
☎ 〇四八九一三六六八四八

昭和三十九年卒
代表取締役
中野一郎

昭和三十九年卒
部長
佐々木隆夫

〒110 台東区竜泉三三三一二
☎ 五五〇三三〇八八八

昭和四十年卒
日三鑄造
辻井俊一郎

〒332 川口市末広一六三三二
☎ 〇四八二一三三三四五四

昭和四十年卒
㈱インテリアムラキ
村木博嗣

〒104 中央区八重洲二一〇一
☎ 三三八一四八〇〇

昭和四十八年卒
四国商事(株)
濱本義典

〒165 中野区新井一五一一二
☎ 三三八六五五六四
Fax 三三八六七六一九

第29回総明会ホスト学年

昭和41年卒(四一明友会)が
つとめさせていただきます

今年は、私も四十一年卒業の「四一明友会」が、総明会の幹事学年となりました。いたらない点も多いとは思いますが、幹事一同、一生懸命つとめさせていただきますので、よろしくお願い致します。

さて、昨年度は母校創立八〇周年とのことで、大変多数の卒業生の皆様にお越しいただきました。しかし、今年はその次年にあたり、どの位の方々に御出席いただけるのか、幹事一同心

配しております。一人でも多くの出席を節にお願ひ致したく、その為にも、皆様に楽しんでいただける催し物、をと皆で相談し、中国の歌舞団の方々をお招きすることにしております。

会場で皆さんに御満足いただければ幸いです。

又、今年はさきやかではございますが、総明会の記念になる品物を、という事で、明治のスクールカラー紫紺色で染めあ

げたMEIJIネームの入ったTシャツを出席者にさし上げるよう準備をしております。

バブル崩壊後、経済の先行きが不透明・不安定なおりにもかかわらず、皆様の暖かい御協力のおかげをもちまして、会報作りも無事完了致しました。

しかし、まだ一番大切な総会をひかえております。会場も、総明会を開くのにはずかしくない場所をと、明治高校に近い東京会館ローズの間を用意致しました。

どうか一人でも多くの同窓生に御出席いただき、楽しくすばらしい総会となります様、幹事一同心より願っておりますので、皆様のより一層のお力添えをお願い申し上げます。

次年度幹事学年

昭和42年卒業 同期会

昭和四十二年三月に卒業した私共の学年は総員約二六〇名で、定期にはありませんが、ときどき同期会を開いています。

参加者は、北は北海道から南は九州迄、多い時で一〇〇名位、少ない時で六〇名位は集まっています。

昭和四十二年三月に卒業した私共の学年は総員約二六〇名で、定期にはありませんが、ときどき同期会を開いています。

参加者は、北は北海道から南は九州迄、多い時で一〇〇名位、少ない時で六〇名位は集まっています。

総明会には毎年一〇名前後が参加しています。

今年、三月二十七日(土)新宿ステーションビル内のプチモンドで恩師七名をお招きして、にぎにぎしく開催されました。

参加者は総勢六十五名。そろそろ白髪が目立って来たり、子供の進学といった悩みをかか

総明会には毎年一〇名前後が参加しています。

今年、三月二十七日(土)新宿ステーションビル内のプチモンドで恩師七名をお招きして、にぎにぎしく開催されました。

参加者は総勢六十五名。そろそろ白髪が目立って来たり、子供の進学といった悩みをかか



第28回総会の「四一明友会」員

明治高校バレー部OB会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|-------------------------|----------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|--------------------|------------------|-------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|-----------------|
| 会長
山口一磨
(昭和二六年卒) | 副会長
伊藤 寿
(昭和二九年卒) | 年度代表幹事
田村正彦
(昭和二九年卒) | 中島 孝
(昭和二四年卒) | 長坂 進
(昭和二五年卒) | 山口一磨
(昭和二六年卒) | 伊藤 寿
(昭和二九年卒) | 星野虎夫
(昭和三〇年卒) | 村上 功
(昭和三一年卒) | 阿久戸成彦
(昭和三二年卒) | 水谷守宏
(昭和三四年卒) | 矢島芳郎
(昭和三五年卒) | 吉田信行
(昭和三六年卒) | 佐々木征二郎
(昭和三七年卒) | 片山 真
(昭和三八年卒) | 酒井孝憲
(昭和三九年卒) | 橘 知紀
(昭和四〇年卒) | 大橋 博
(昭和四一年卒) | 佐久間洋一
(昭和四二年卒) | 小暮一雄
(昭和四三年卒) | |
| 星野 勲
(昭和四四年卒) | 山梨義行
(昭和四五年卒) | 犬塚浩章
(昭和四六年卒) | 佐藤明良
(昭和四七年卒) | 目沢雅実
(昭和四八年卒) | 山本説成
(昭和四九年卒) | 斎藤賢司
(昭和五〇年卒) | 樋田哲次
(昭和五一年卒) | 鹿島慎二
(昭和五二年卒) | 平田和広
(昭和五三年卒) | 富山裕明
(昭和五四年卒) | 藤田建一
(昭和五五年卒) | 肥田耕一
(昭和五六年卒) | 中島則之
(昭和五七年卒) | 岩井孝之
(昭和五八年卒) | 須田祐一郎
(昭和五九年卒) | 馬越英樹
(昭和六〇年卒) | 小山政樹
(昭和六一年卒) | 平野由朗
(昭和六二年卒) | 荒井 誠
(平成元年卒) | 須田修一
(平成二年卒) |

明卓OB会

(明高卓球部OB会)

- | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 会長
宇田川雄弘
昭和三〇年卒 | 副会長
西村 昭
昭和三〇年卒 | 副会長
小林功明
昭和三四年卒 | 副会長
倉島孝夫
昭和三七年卒 | 幹事長
高橋正侑
昭和三八年卒 | 常任幹事
佐藤信征
昭和三九年卒 | 昭和四〇年卒
秋田直好 | 昭和四二年卒
山崎泰夫 | 昭和四三年卒
古川 猛 | 昭和四六年卒
岩田順義 | 昭和四七年卒
小川武志 | 昭和四七年卒
遠藤裕司 |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|

明高応援団

OB会 (総員百六十五名)

顧問先生

山田伸夫

これから
どうぞよろしく

新会長
吉田耕太郎
昭和四五年卒

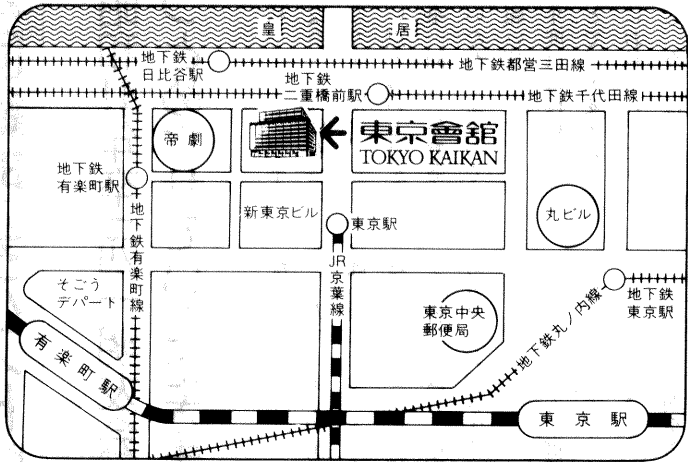
新会計
松川芳久
昭和四五年卒

長い間
ごくろうさまでした

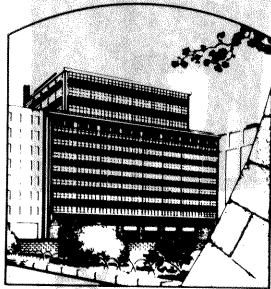
前会長
大関清人
昭和四〇年卒

前会計
角田敏彦
昭和四一年卒

祝 第29回総明会総会



交通 JR：東京駅南口より徒歩5分
有楽町駅より徒歩3分
京葉線東京駅5出口より徒歩2分
地下鉄：千代田線二重橋前駅
有楽町線有楽町駅
日比谷線日比谷駅
都営三田線日比谷駅



皇居二重橋前
東京會館
TOKYO KAIKAN
☎(03)3215-2111
千代田区丸の内3-2-1

(地下連絡B4出口を
ご利用ください。)

会場のご案内

総会特別記念品 特別高級Tシャツ

総明会総会にご出席の皆様、
国産高級綿を使用した素材に、
柄は白無地に母校の「MEIJI」
のマークを紫紺に染めた特製の
Tシャツを準備しました。
記念品として、お持ち帰りに
いただきますので、皆様の出席を
心よりお待ちしております。



◎当日司会者

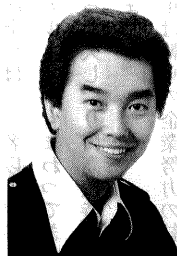
第二九回総明会おめでとうござ
います。当日の司会・進行役
をつとめさせていただきますので、
よろしく願致します。

昭和四十一年卒

キングレコード専属

井上てつや

(廣瀬 準)



東京中国歌舞団

日中平和友好条約
十五周年記念

日本と中国との間には、歴史・
地理・文化などの上で長く深
い絆があります。そして今年
は日中平和条約(一九七八年)の
十五周年を迎えます。

この記念すべき時に、音楽・
舞踊に優秀な技能を持つ、中
国でも一流の芸術家を集めて本
格的に中国の音色を伝える歌舞
団の素晴らしい歌と演奏と踊りを
御堪能下さい。



業務用酒類販売

合資会社

泉屋商店

〒171 東京都豊島区目白五-四-一
電話 三九五三-二二六六

金盃で乾杯

金盃酒造株

ウイスキーの正統

スーパースキ

ニッカウヰスキー株

大人になったら
黒ラベル

サッポロビール株

結局、飲んでる

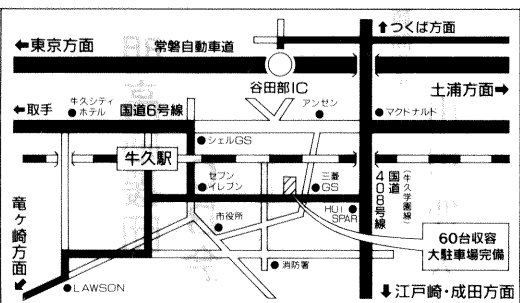
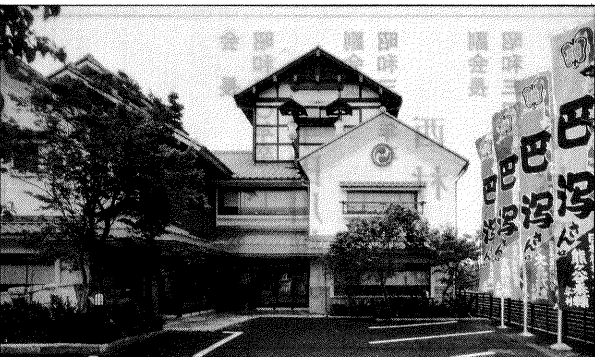


黒ラベル

サッポロ黒ラベル

サッポロビール株式会社

ビールは、20歳になってから



ちやんこ割烹牛久店

牛久店

☎〇二九八(七三)五四一一
〒三〇〇一十二牛久市柏田町三七二五

両国店

☎〇三三(二六三)五六〇〇
〒一三〇東京都墨田区両国二七六

昭和四十一年卒

工藤建次
川越豊続

ちやんこ割烹牛久店

